国立病院機構大阪医療センター　令和４年度　第２回　倫理委員会
議事要約

日　　時：令和４年10月４日　16:00～16:40
場　　所：国立病院機構　大阪医療センター　オンライン開催
出席者　：副院長・三田英治（委員長）、統括診療部長・渋谷博美、看護部長・西本京子、
　　薬剤部長・吉野宗宏、事務部長・田中英之
院外委員：大野ゆう子、鍵谷文子、北村英雄、鈴木敬一郎
欠席者　：臨床研究センター長・白阪琢磨（副委員長）、日高庸晴、霜野壽弘

議題：
1. 実施許可申請の審査について
　①実施許可申請206（再申請）
　「心房細動症例におけるマーシャル静脈に対するアルコール注入アブレーション」
　（研究責任者：循環器内科医長　井上耕一）

　指摘及び質問と回答は以下の通り
　Q1）13 枚目「治療時間は３時間程」との記載がありますが、マーシャル静脈をやるプラスアルファの時間ですか
　A1）手術全体の時間です

　Q2）マーシャル静脈のエタノールを注入される時間は
　A2）30分ぐらいです

　Q3）保険適応の動きはありますか
　A3）今のところありません。

　②実施許可申請210
　「遺伝子学的検査を用いた常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）の診断」
　（研究責任者：腎臓内科医長　岩谷博次）

　指摘及び質問と回答は以下の通り
　Q4）確定診断および予後予測のためですか
　A4）重症例にはトルバプタンの適用があり、正確な診断が重要となります

　Q5）費用はどのぐらいですか
　A5）かずさＤＮＡ研究所に委託をし、自己負担55,000円になります

Q6) この疾患の場合、陰性の場合でも可能性がゼロではない、その検査のために 55,000 円払っていただき、検査結果が出るまで３か月待つというふうなニュアンスでも問題ないのでしょうか

A6)患者会などから要望が上がりますが、どこもできていないために実際には検査機関または研究機関で実施されることとなります。確立されたものではなく「病的かどうか未確定なバリアント」としてお伝えすることになります

③ 実施許可申請 211

「ロボット支援腹腔鏡下膵切除術」

（研究責任者：肝胆膵外科医長　後藤邦仁、説明者：酒井健司）

④ 実施許可申請 212

「ロボット支援腹腔鏡下肝切除術」

（研究責任者：肝胆膵外科医長　後藤邦仁、説明者：酒井健司）

指摘及び質問と回答は以下の通り

Q7) どうして症例数（膵切除 5 症例、肝切除 10 症例）が違うのですか

A7) トータルの手術件数でも膵切除より肝切除の方が多いので、そのことも起因していると思います

2. その他

- 次回開催日

  2023 年 2 月 7 日(火)16:00～